

単為結果性ミニトマト

CFネネ



食味よい！
葉かび病に強い！

食味よく，葉かび病に強い単為結果するミニトマト。

ミニトマト CF ネ ネ 特性と栽培ポイント

品種特性

- 単為結果性で自然に着果するので，マルハナバチは必要ない。
- 果実は赤色球形，12～18g 果肉は粘質多汁で食味がよい。
- 標準糖度（Brix）は 8.0～9.0 である。
- 中葉で葉幅，節間，草勢は普通。
- 葉かび病（Cf9），ToMV（Tm2^a型）に耐病性。

栽培のポイント

■ 標準施肥量（関東ローム土耕栽培）

N = 10～12 P = 30～40 K = 15～20
Ca = 50～60 （成分量 kg/10a） 堆肥 3t/10a

■ 定植適期の苗

抑制栽培で第一花房の蕾が米粒大に確認できる苗。
促成，半促成，早熟，雨よけ栽培で第一花房が 3～5 開花の苗。

■ 摘果

果数が多い果房は 30～40 果くらいに摘果すると肥大，揃いがよい。

■ 接ぎ木栽培の注意

台木使用の際は ToMV 抵抗性遺伝子が Tm2 または Tm2^a型を保持した品種を使用する。

作型図



